

さんぶつげ
讃仏偈

経文・意識・作法説明付

『讃仏偈』とは『大無量寿

経』に説かれる偈です。

法蔵菩薩（後の阿弥陀如来）

が師の世自在王仏を讃え、師

のような仏となり、迷うもの

をすくうと誓われています。

最後には、地獄の苦しみを味

わうことになっても後悔しな

いと決意をされています。

棒読みのお経ですので、是非

日ごろお読みいただき、法蔵

菩薩の覚悟をお聞き下さい。

○は、調声一人で読めます

●より、一緒に読めます

合掌・念仏・礼拝・経本を頂く

キン二打

礼拝文

われ今幸いにまことのみ法を

聞いて限りなきいのちをたまわ

り如来の大悲にいだかれて安

らかに日々をおくる謹んで深

きめぐみをよろこび尊きみ教

えをいただきますまつらん

キン一打

こうげんぎぎ
○光顔巍巍

師（世自在王仏）のお顔は神々しく

によらいようげん
如来容顔

師のお姿は

いじんむごく
●威神無極

お力も無限です

ちようせむりん
超世無倫

何よりも優れています。

によぜんみよう
如是焰明

師の輝きは

しょうがくだいおん
正覚大音

師の説法の声は

むよとうしや
無与等者

何よりも優れています。

こうるじつぼう
響流十方

すべてに響き渡ります。

にちがつまに
日月摩尼

太陽や月、素晴らしい功德くどくを供えた

かいもんしようじん
戒聞精進

規律を守り、教えを聞き、努力をし、

しゆこうえんによう
珠光焰耀

宝石の輝きでさそえ

さんまいちえ
三昧智慧

心を静かに保ち、智慧ちえを得た

かいしつおんべい
皆悉隠蔽

影をひそめ

いとくむりよ
威徳無侶

その徳は比べるものがなく

ゆにやくじゆもく
猶若聚墨

墨のかたまりのようです。

しゆしょうけう
殊勝希有

何よりも優れています

じんたいぜんねん
深諦善念

深く明らかに善く

しよぶつほうかい
諸仏法海

ほとけがた
仏方の深い教えを思い

ぐじんじんのう
窮深尽奥

奥深くまで

くごがいたい
究其涯底

知り尽くしています。

むみょうよくぬ
無明欲怒

愚かさど欲と怒りは

せそんようむ
世尊永無

みほとけ
御仏にはありません

にんのうしし
人雄師子

何よりも優れ

じんとくむりよう
神徳無量

お徳は量りしれません。

くくんこうだい
功勳廣大

その功績は大きく

ちえじんみよう
智慧深妙

ちえ
智慧は深く

こうみよういそう
光明威相

光の力は

しんどうだいせん
震動大千

世界を震わせます。

がんがさぶつ
願我作仏

ほうぞうぼさつ
私（法蔵菩薩）も

ざいしやうほうおう
齊聖法王

あなたのような仏となります。

かどしやうじ
過度生死

まよう者をすくい

みふげだつ
靡不解脱

さとりへと導きます

ふせじょうい
布施調意

他者へ施し心を落ち着け

かいにんしょうじん
戒忍精進

戒めを守り、よく耐えて、よく励み

によぜんさんまい
如是二昧

これらに集中して

ちえいじょう
智慧為上

すぐれた智慧を得ます。

ごせいとくぶつ
吾誓得仏

私は誓います。阿弥陀仏となり

ふぎょうしがん
普行此願

この願いを成し遂げます。

いっさいくく
一切恐懼

すべての苦しむ者の為に

いさだいあん
為作大安

大いなる安らぎを与えます

けしうぶつ
假使有仏

たとえ御仏が

ひやくせんのかまん
百千億万

百千億万とも

むりょうだいしょう
無量大聖

ガンジス河の砂の数ほど

しゆによごうじゃ
数如恒沙

無数におられ

くよういっさい
供養一切

すべての仏方に

しとうしよぶつ
斯等諸仏

供養するよりも

ふによごどう
不如求道

私が誓った道を

けんしょうふきやく
堅正不却

ひるまずに歩む方がよいです。

譬如恒沙

たとえガンジス河の砂の数ほどの

諸仏世界

仏方の世界があり

復不可計

数えきれないほどの

無数刹土

仏方の国々があろうとも

光明悉照

私の光はことごとく

徧此諸国

これらの国に届くことでありましよう。

如是精進

そうなるようにひたすら努力し

威神難量

量り知れない光を得ます。

令我作仏

私は阿弥陀仏となり

国土第一

一番すぐれた極楽浄土を作ります。

其衆奇妙

その国の人々は素晴らしく

道場超絶

素晴らしい道場となります。

国如泥洹

さとり为国として

而無等双

並ぶものはありません。

我当哀愍

私は憐れみの心で

度脱一切

すべての者をすくいます。

じつぽうらいししょう
十方來生

どんな世界から来ても

しんねつしょうじょう
心悅清淨

悦びに満ち清らかになります。

いとうがこく
已到我国

私の国に来たならば

けらくあんのおん
快樂安穩

大いなる安らぎを得ます。

こうぶつしんみょう
幸仏信明

願わくば師よ、この誓いをお認め下さい。

ぜがしんしょう
是我真証

それこそまことの証明です。

ほつがんのひ
発願於彼

この願いをおこして

りきしょうしよく
力精所欲

ひたすら励みます

じつぽうせそん
十方世尊

すべての仏方は

ちえむげ
智慧無礙

まことの智慧をお持ちです。

じょうりょうしそん
常令此尊

ほとけがた
仏方よ、常に

ちがしんぎょう
知我心行

私の心と行いをご覧ください。

けりょうしんし
仮令身止

たとえこの身が

しよくどくちゅう
諸苦毒中

地獄の苦しみを味わおうとも

がきょうしょうじん
我行精進

私はこの道を突き進み

にんじゅうふけ
忍終不悔

決して後悔することはありません。

なまんだぶ

○南無阿弥陀仏

なまんだぶ

●南無阿弥陀仏

×5

がんにしくどく

○願以此功德

びようどうせいっさい

●平等施一切

どうほつぼだいしん

同発菩提心

おうじょうあんらつこ

往生安楽国

キン一打

キン一打

キン一打

どうかこの阿弥陀如来の功德によつて

平等に届く阿弥陀如来の御名を聞き

共にこれをよろこび

安楽（極楽）浄土に、往生させていただきましよう

キン三打

経本を頂く・合掌・礼拝

ごぶんじょう

御文章 聖人一流章

れんによしやうにん
蓮如上人の手紙

しょうにんいちりゆう

聖人一流の御勸化の趣は、信心をもつて本

しんじん
ほん

とせられ候。

そうろう

ゆえ

その故は、もろもろの雑行をなげすてて、

ぞうぎまう

いっしん みだ きみよう

一心に弥陀に帰命すれば、不可思議の願力

ふかしぎ がんりき

として、仏の方より往生は治定せしめたま

ぶつ かた

おうじょう じじよう

う。その位を、一念発起・入正定之聚とも

くらひ

いちねんぼつき にゆうじょうじようしじゆ

しゃく 釈し、その上の称名念仏は、如来わが

によらい

おうじょう 往生を定めたまいし、御恩報尽の念仏と

うえ

しょうみょうねんぶつ





ねんぶつ

心得べきなり。あなかしこ あなかしこ

こころず

親鸞聖人が示された浄土真宗の教えで大切な所は、阿弥陀如来より賜る信心です。その理由は、自分の力には限界があることを知らされ、さまざまな修行を捨てて、阿弥陀仏のすくいにおまかせしますと心から思うならば、阿弥陀仏の力により、極楽浄土に生まれることが決まります。その境地は、次の世に仏となることが定まる弥勒菩薩と同じです。今ここが、すくいのご真ん中です。その上で南無阿弥陀仏と称えることは、阿弥陀仏はよくぞこの私を見捨てることなく声をかけ続けて下さいますと頂きましょう。


読み方などわからない場合は、YOUTUBE「西光寺チャンネル」を参考にして下さい。その他の勤行・節談説教・紙芝居・アニメも配信しています

<p>西光寺チャンネル</p>	<p>讚仏偈</p>
	
	

浄土真宗本願寺派西光寺

千葉県市原市根田七二三―一

TEL 〇四三六―二二―七四二二



西光寺HP